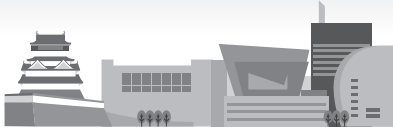


ふれあいネットワーク

こくら北

社協だより

第165号



発行 小倉北区社会福祉協議会

小倉北区大手町1番1号 区役所3F
TEL (093) 571-5452 FAX (093) 571-9553

あつまれば 大きなちから 赤い羽根 赤い羽根共同募金



「赤い羽根共同募金」は民間の社会福祉活動を支援するためのしくみとして社会福祉法に位置づけられ、今年も、令和3年10月1日から令和4年3月31日までの間、全国一斉に展開されます。

じぶんの町を暖くするついで

この活動で集められた募金は、福岡県共同募金会から社会福祉協議会をはじめ、様々な民間福祉団体等に配分され、身近な地域の福祉向上に役立てられています。

小倉北区では、昨年度、自治会を通じて戸別募金やイベント募金、学校や職域での募金などにより、7,141,069円が集まり、その約7割が小倉北区の福祉事業に配分され、住民による見守りや助け合いを進める「ふれあいネットワーク」活動や次世代の地域福祉を担う子ども達の育成事業、高齢者の健康とふれあいの居場所づくりである「サロン活動」をはじめ、様々な地域福祉団体の活動などに活用されています。

その他にも、障害のある人のための共同作業所の運営や高齢者・児童施設事業等に活用されるほか、一部は、大規模災害時のボランティア活動を支援するための準備金として積み立てられ、被災地

の復興支援にも使われます。
募金百貨店プロジェクト

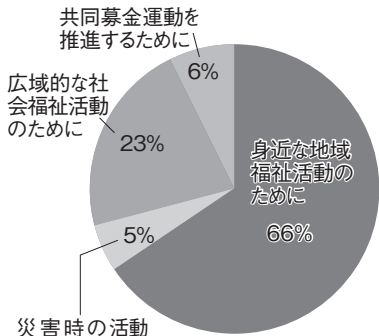
赤い羽根共同募金と企業(店舗)が協力し、「寄付つき商品」を企画することで、企業利益と社会貢献をつなげる取り組みもはじまっています。



次世代地域福祉活動者育成事業(ウエルクラブ)



多世代交流 ゆうあい交流会



福祉活動者の養成研修会



災害ボランティアセンターの設置・運営

す。小倉北区では「赤い羽根龍之介カレー」の瑠璃ズキッチン小倉砂津店が募金協力を行っています。
ご家庭で、職場で、学校で、「共同募金」はいつでもどこでも参加できるボランティア活動です。

共同募金会の災害時の取組について

共同募金会では、創設当初から、災害時に、被災者への見舞金としての義援金募集を行っています。

また、阪神・淡路大震災のボランティア活動時に課題となっていた、ボランティア活動の資金を支援するため、災害等準備金が制度化されました。さらに、被災地等で活動するボランティアグループやNPOの活動を支援するための取り組みも行っています。

被災者に寄り添う「災害義援金」
災害が発生した場合、被災した地域にある都道府県共同募金会では、被災された方へのお見舞金として、災害義援金を募集します。

被災した地域以外の都道府県共同募金会も募集に協力しており、集まった義援金は、被災した地域の共同募金会に全額送られます。

平時からの備え「災害等準備金」
各都道府県共同募金会では、災害発生後、すぐに支援を行えるように、一般募金と歳末たす

みなさまのあたたかいご支援をよろしくお願いいたします！

共同募金運動に関する問い合わせ
福岡県共同募金会小倉北区支会
(小倉北区役所コミュニティ支援課内) TEL 582-3415

けあい募金を併せた募金実績額の3%を、災害等準備金として積み立てています。被災地の災害等準備金が不足した場合は、他の都道府県共同募金会が保有する準備金を拠出することができ、共同募金への寄付は、災害時における広域的な助け合いの取り組みにもつながっています。
支える人を支える「支援金」

東日本大震災発生直後の平成23年3月15日から、被災地等で復旧、復興活動に従事するボランティアグループやNPOの活動を支援するため、赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ)」が創設されました。



詳細については、中央共同募金会ホームページをご覧ください。
(<https://www.akahane.or.jp/>)



コロナ禍での見守り活動について学びました

このマンションでは、一人暮らしの高齢者の方に、毎朝「元気ですカード」を玄関に出してもらい、それを福祉協力員が確認することで安否確認を行っています。カードが出ていないときは、本人へ連絡をします。「出すのを忘れていたわ」の一言にひと安心することもよくあるそうです。以前から取り組まれてきたこの活動ですが、感染症対策を取りながら行うことの出来る見守り活動として、改めて力を発揮しています。

活動を続けてきた中で感じた喜びや、やりがいなどについてのお話しもあり、コロナ禍での見守り活動の手法として、とても参考となるものでした。

様々な制約の中でも出来ることに目を向けて、工夫やアイデアを凝らし、ふれあいネットワーク活動を続けることが出来るように、社会福祉協議会は皆さんと一緒に考えていきます。

社会福祉施設×サロン編

新型コロナウイルスの影響で、既に一年半以上思うようにサロン活動ができない状況が続いています。やむを得ず、長期の活動自粛を選択するサロンもありますが、閉じこもりによる高齢者の筋力低下や社会的孤立が深刻な問題となってきました。健康を維持し、社会とのつながりを保つために、いかにサロン活動が重要な役割を担っていたかが再認識されるようになった中で、感染状況をみながら活動を再開しているサロンがいくつかあります。

「なかよしクラブ」は一人暮らしの高齢者を対象に清水地区の民生委員が中心となって立ち上げたサロンです。清水小学校の学童保育施設を活動拠点としていましたが、30人程の参加者がソーシャルディスタンスを十分に取るのは難しく、他の広い活動場所を探していました。

そんな折、校区内にある「特別養護老人ホーム新栄きよみずの杜」に相談したところ、施設の中の「しんえい交流ホール」を使用させていただけることとなりました。施設の中ではありますが、施設内の方と接触することなく直接入室できる入口があるため、感染予防の観点からも理想的な活動場所でした。

7月26日、しんえい交流ホールでの初めてのサロンが開催されました。この日は、ちいむ・レク☆

サスの尾中美穂先生を講師にお迎えし、シナプソロジー(二つのことを同時に行うことで脳の活性化を図る)講座が行われました。参加者の皆さんは、久しぶりにサロンを開催できた喜びに溢れていました。

コロナ禍により、サロンは大きな転換期を迎えました。断続的であっても、サロン活動をこれからも続けていくために、地域の力を合わせて、この危機的状況を乗り越えていく必要があります。その中でも、社会福祉施設は頼もしい地域の仲間です。

北九州市社会福祉協議会は各種別社会福祉施設協議会と「地域における公益的な取組の推進に関する協定」を結びました。これは、社会福祉法人が培ってきた福祉サービスに関する専門性や、地域のネットワークを生かしながら、地



しんえい交流ホールで久しぶりのサロンを楽しみました

域福祉活動に積極的に貢献していくというものです。

今回のように、サロンなどの地域活動を行う上で抱える悩みや課題を、社会福祉施設や校(地)区社会福祉協議会を交えて共有し、みんなで知恵をしぼり、力を合わせて解決に向かっていけるようにこれからも連携を強めていきたいと思えます。

高齢者見守りサポーター派遣事業

～認知症高齢者などを在宅で介護している家族を支えます～



介護疲れでリフレッシュしたいときや買物で外出したいときなど、認知症高齢者に関する知識を持つサポーターがお宅へ訪問し高齢者の見守りや話し相手をいたします。

(食事・トイレの介助はできません)

- 利用対象者**
 - 認知症などにより見守りが必要な高齢者を在宅で介護している家族
 - 一人暮らしで認知症などにより見守りが必要な高齢者
 - 利用料金**
 - 1時間30分あたり 500円
 - サポーターの交通費実費
 - 申し込み**
 - 各地域包括支援センターへ
- (事前の訪問調査・登録が必要です)

《問い合わせ》 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課 TEL 873-1296

貴金属 切手 方巾 骨董品

遺品整理士協会認定 遺品整理士 佐々木一紀 認定 第IS22409号

出張買取りも致します

家に眠っているお宝 買い取ります

まずはお気軽にお電話ください

093-967-2880

おたからや井城店 〒803-0835 小倉北区井城 3-1-7 福岡県公安委員会許可第302051910002号 営業時間:月~土 10:00~18:00 日曜/定休

おたからや

9種類の介護施設

年長者の里小倉三萩野

小規模多機能ホーム三萩野体験利用受付中

TEL.093-932-1202 小倉北区白銀 2-11-4



認知症のクイズにも積極的に参加する子どもたち

『ウェルクラブ編』
 ウェルクラブ活動は、地域の宝である子どもたちにふれあいネットワーク活動や地域活動を体験してもらい、次世代の地域福祉活動者を育てながら、その保護者等も巻き込んで、住民主体の福祉の風土づくりを進めていこうという校(地)区社協の取り組みです。
 中井校区北小倉では、この活動に参加する子どもたちを「おたすけマン」と呼んでいます。
 今年度の活動は7月17日の勉強会からスタートしました。北九州
 市認知症支援・介護予防センターの中村氏と松岡氏を講師に迎え、クイズや認知症予防の指体操、寸劇や読み聞かせを交えながら、認知症についての理解を深めました。地域の中で困っている認知症

**地域支援
コーディネーター
ネットワーク**

渡邊Co. 毛利Co. 工藤Co.

奮闘記

の高齢者を見かけた時は、ゆっくり近づいて、目線を合わせて穏やかに話しかけること。そしておたすけマンの役割は近くの大人になぐことであると学びました。
 勉強会終了後には、福祉協力員と民生委員、おたすけマンOGの中高校生4名が見守る中、10名の子どもたちが新たなおたすけマンに任命されました。
 8月4日は2年ぶりのバス研修。平尾台自然の郷でそば打ち体験を行いました。これは、「平尾台手打ち蕎麦倶楽部地域振興部会」の皆さんが次世代にそば打ち技能を伝承することを目的とした社会貢献活動です。
 そば切りの歴史やそばの栄養などを学んだあと、感染症対策をしっかり行いながら、そば打ちに挑戦しました。子どもたちは真剣な表情でそば粉を振り、伸ばして、切って...
 出来上がった蕎麦は、形こそ不揃いではありましたが、自分達で生地から作って打った蕎麦は格別で、みんな何杯もおかわりして美味しくいただきました。
 長引くコロナ禍で、例年のような高齢者宅や施設訪問等の活動はまだ出来ませんが、出来ることを見つけて工夫しながら前向きに活動していきます。コロナに負けず、今年も頑張れ！おたすけマン！

同じ太さに切るのは難しいなあ
 初めて見るそばの実や花に子どもも大人も興味津々
 任命書をしっかり受け取って気合が入ります



同じ太さに切るのは難しいなあ



初めて見るそばの実や花に子どもも大人も興味津々



任命書をしっかり受け取って気合が入ります



元気ですカードの取り組みを発表する原田さん

『ふれあいネットワーク研修会編』
 7月17日、日明市民センターにてふれあいネットワーク研修会が実施されました。新型コロナウイルスの影響で2年ぶりの開催となったこの研修会では、新任の福祉協力員やニーズ対応員の皆さんに、ふれあいネットワーク活動の3つの仕組みである「見守り・話し合い・助け合い」について改めて説明し、具体的な見守りポイントやクイズ等を通して理解を深めてもらいました。
 また、コロナ禍においてもつながりを絶やさずふれあいネットワーク活動を続けるためのアイデアとして、「元気ですカード」という独自の見守り活動の取り組みを行っている緑ヶ丘第4マンションの原田さんに、活動内容についてお話しいただきました。

【原則20～64歳対象】
障害年金をもらい忘れていませんか？
 障害年金とは、病気やケガで日常生活や就労に支障が生じている方に支給される公的な年金のひとつです。
 受給例 ●うつ病で障害厚生年金2級110万を受給 ●脳梗塞で障害厚生年金2級185万を受給 ●腎不全で障害基礎年金2級78万を受給など
 偏病 精神疾患・知的障害・人工透析 脳出血・心臓病・肢体障害 人工関節・ICD・がんなど多数

今日をよりよく生きるために。みんなの笑顔が増えていく介護を目指します。

社会福祉法人 鷹羽会
TAKAHAKAI

軽費老人ホーム階寿園
階寿園デイサービスセンター
グループホーム花みずき

小倉北区篠崎1-9-5
TEL.093-592-3561 FAX.093-592-3562

【原則20～64歳対象】
障害年金をもらい忘れていませんか？

障害年金とは、病気やケガで日常生活や就労に支障が生じている方に支給される公的な年金のひとつです。
 受給例 ●うつ病で障害厚生年金2級110万を受給 ●脳梗塞で障害厚生年金2級185万を受給 ●腎不全で障害基礎年金2級78万を受給など
 偏病 精神疾患・知的障害・人工透析 脳出血・心臓病・肢体障害 人工関節・ICD・がんなど多数

☎093-533-8200(8:00～21:00)

社労士による無料相談受付中です
北九州 障害年金サポートネット
 運営：平井社会保険労務士事務所 北九州市小倉北区船場町2-10 近藤会館4階A号

あつたかご寄付のご紹介



学生の皆さんに温かい支援の手が届きました

夢空間ケアプランセンター様より、お米券を寄付したいとお申し出をいただきました。地域では民生委員・児童委員も務める同センター管理者の松永てるみさんは、長引く新型コロナウイルスウイルスの影響で生活が困窮している人たちの話を聞き、地域の方とも相談して、少しでも支援に役立てて欲しいとの思いから、今回の支援につながりました。



笑顔の素敵なホットヨガスタジオLAVA小倉店の皆さん



小倉駅前あさの夕風公園で行う早朝ヨガ。澄んだ空気で心も体もリフレッシュ

ホットヨガスタジオLAVA小倉店様より、小倉北区の福祉活動に役立てて欲しいと、チャリティ一早朝ヨガの参加費をご寄付いただきました。ヨガはサンズクリット語で「繋がり」を意味するそうので、心と体、そして魂が繋がっている状態の事を表します。コロナ禍のこんな時だからこそLAVAだけでなく、周りとの繋がりに感謝したいとの思いで始めた早朝ヨガ。温かなお志は、人と人との繋がりを大切にする支え合いのまちづくりに活用させていただきます。

- ◆福祉へのご寄付
◆社協会員へのご協力
◆個人会員
◆団体会員
◆匿名4件

小倉北区社協のすすめる
地域福祉活動は、みなさまの善意の寄付や募金で支えられています

社協会費
個人、団体、企業からの会費

共同募金
赤い羽根募金、歳末たすけあい募金

一般寄付
イベント・お祭り・バザーなどの収益金や個人・企業からの篤志寄付

香典返し寄付
故人の供養やご会葬下さった皆様へのお礼に代えて

- 《中井校区》
後藤 昭二
太田 敦
古曳 伸枝
内山 伸一
岡井 敬子
中尾 和恵
小林 雅美
山田 直美
平貞 信幸
山野 可年
《小倉北区食生活改善推進員》
室 はつよ
丹波地 憲子
《三郎丸校区》
木村 年伸
福田 義憲
倉光 邦司
原 英治
高崎 克典
山口 由美
赤峰 由美子
河野 京子
石井 忍
近松 芳朗
河野 克幸
小川 巧
千々岩まり子
高橋 洋子
仲摩 重利
《富野校区》
梅野 秀麻呂
吉村 美津子
岩本 百合子
藤家 和夫
中村 鈴子
《教育委員会》
小杉 繁樹
《今町校区》
福丸 清生
渡邊 正信
竹澤 稔
宮崎 徹志
藤原 香代子
福丸 律子
大司 洋太
小野 善孝
間庭 修二
渡邊 尚美
大瀬良 健一
花見 正昌
新井 節代
徳永 日出城
中村 豊子

小倉北区社協ボランティア・市民活動センターだより

第 45 号



ひまわりねっと

小倉北区ボランティア・市民活動センター

●電話・FAX (093) 562-2051
●E-Mail : kokurakita-vc@kitaq-shakyo.or.jp
●月曜日～金曜日 8:30～17:15
(土・日・祝日はお休みです)

ボランティアウィーク2021 開催

「ボランティアウィーク2021」では、「地域共生社会」の実現に向けて、「学びと発信の場」を基本コンセプトに、福祉をはじめとした私たちの生活の課題等を学ぶとともに、ボランティア・市民活動等で取り組まれている、つながりづくりや支え合いを中心とした日頃の活動の発信を行います。

開催期間：令和3年10月16日（土）～10月23日（土）

開催場所：ウェルとばた（戸畑区汐井町1-6 JR戸畑駅横）

内 容：親子手話講座、折紙講座、SDGs 講座などの各種講座や
クップ体験会、ボランティア活動紹介、おもちゃ病院、
フードバンクなど、様々なイベントがあります。

問合わせ：北九州市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター

TEL：093-881-0110



詳しくはこちら→



各種講座、体験は事前に申し込みが必要です。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、
予告なく変更する場合があります



..... 学校等での福祉教育の実施支援

ボランティア・市民活動センターでは、北九州市内で活動するボランティア、福祉関係機関・団体、教育関係者、校（地）区社会福祉協議会関係者を対象に、各種物品貸出を行っています。

福祉教材の貸出を通じ、障害者や高齢者等の当事者の気持ちや、介助者の役割を理解し、社会の一員として地域共生社会の実現に寄与することを目指した福祉教育の推進を進めています。



様々な体験をとおして、社会問題への対応などの視点も加え、新たな地域福祉の心を醸成します。

貸出用の福祉教材は、車椅子、スロープセット、高齢者・障害者疑似体験セット、アイマスク、白杖、点字盤などがあります。詳しくはボランティア・市民活動センターへお問い合わせください。

収集ボランティア
をしませんか

使用済み切手、書き損じはがき、プルタブを集めています!



ボランティア・市民活動センター（小倉北区役所
東棟3階）へお持ちください。



ご協力ありがとうございます

- | | | | |
|------------------|--------------|--------------|--------|
| ○澁谷かつ | ○藤壺元子 | ○町田音吉 | ○千々和一美 |
| ○臼木勝良 | ○倉田彩音 | ○大串信義 | ○山縣登志子 |
| ○宇野多美子 | ○魚澄はるな | ○野村和彰 | ○新納三鶴 |
| ○匿名 | ○桜丘校区社会福祉協議会 | ○薫会北九州シティホーム | |
| ○九州建物管理(株) | ○第一生命保険(株) | ○清水建設(株) | |
| ○小倉北体育館 | ○小倉南体育館 | ○新門司体育館 | |
| ○教育委員会学校支援部学校保健課 | | ○南小倉市民センター | |
- (敬称省略・順不同)

企業の地域貢献『収集ボランティア』

第一生命保険株式会社 北九州第一オフィス

第一生命保険(株)北九州第一オフィスは、様々な地域貢献活動のほか、プルタブや使用済み切手、ペットボトルキャップなどの収集ボランティア活動もしています。他企業にも声かけし、集めていただいたたくさんの収集物をボランティア・市民活動センターへ寄贈していただきます。

いただいた使用済み切手、プルタブは換金し、地域福祉活動を推進する為に役立てられています。



知っていますか? 福祉に関するマーク



耳マーク

聴覚障害は外見ではわかりにくい障害です。「耳が不自由です」という自己表示が必要ということで考案されました。「筆談」「大きな声で話す」「口元を見せてゆっくり話す」などの配慮が大切です。



「白杖 SOS シグナル」
普及啓発シンボルマーク

白杖を頭上50cm程度に掲げてSOSのシグナルを示している視覚に障害のある人を見かけたら、進んで声をかけ、困っていることなどを聞き、サポートしようという「白杖 SOS シグナル」運動の普及啓発シンボルマークです。



身体障害者マーク

肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている人が運転する車に表示するマークです。危険防止のためやむを得ない場合を除き、このマークを付けた車に幅寄せや割り込みを行った運転者は、道路交通法の規定により罰せられます。



マタニティマーク

妊娠初期は、赤ちゃんの成長はもちろん、お母さんにとっても大切な時期ですが、おなかが目立たないことから周囲の理解が得られにくい場合があります。妊産婦にやさしい環境づくりの一環として考えられたものです。



聴覚障害者マーク

聴覚障害であることを理由に免許に条件を付されている人が運転する車に表示するマークです。危険防止のためやむを得ない場合を除き、このマークを付けた車に幅寄せや割り込みを行った運転者は、道路交通法の規定により罰せられます。



介護マーク

介護中であることを周囲に理解していただくためのものです。外出先でこのマークを見かけた際には、あたたかく見守り、可能であれば手助けをするなど、ご理解とご協力をお願いいたします。